



JA岩国市からのご案内

JA2017

Mini Disclosure

ミニディスクロージャー



経営理念

- JA岩国市は、農業振興を通じて、「食」と「農」と「緑」を守り、かけがえのない自然を次世代に引き継ぎます。
- JA岩国市は、地域の皆様とともに生き、地域の皆様との共感の中で、心ふれあう地域づくりに取り組みます。
- JA岩国市は、高い倫理観と責任感を持ち、地域社会に貢献できる事業と組織づくりに取り組みます。

自己改革への取り組み

総合事業を通じて地域農業を振興し、これまで以上に組合員・地域住民の皆様から「地域にとって不可欠な組織」と認識されるため、自己改革を着実に実践します。

地域貢献に関する事項

- 地域の小学生の農業に対する理解を促進するためJAバンク食農教育応援事業を展開し、農業に対する教材「農業とわたしたちの暮らし」の配布や特産品である岩国れんこんの植付け及び掘取り体験を実施することで地産・地消促進活動に取り組んでいます。
- 定期的に「年金無料相談会」を開催し、年金のお受取りのお手伝い、年金に関する疑問・質問等、何でもご相談に応じさせて頂いています。
JA岩国市で年金をお受取りになる皆様には、特典として①年金受給日に窓口来店プレゼント、②全員にお誕生日プレゼント、③抽選による記念品プレゼント（カタログギフト）、④年金定期貯金「結いの恵み」キャンペーンなど、日頃の感謝の気持ちを込めた様々な取り組みを実施しています。
- お仕事の都合などで平日ご来店頂けないお客様のために、定期的に「JAローン休日相談会」を開催し、マイカー・マイホームを持つという夢の実現のお手伝いをさせて頂いています。
- 就学前の幼稚園・保育園児と保護者を対象とした「親と子の交通安全教室」の実施、児童・生徒の書写教育に貢献することを目的に小・中学生を対象にした「書道コンクール」を実施しています。

地域からの資金調達の状況

組合員の皆様はもちろん、地域住民や事業主の皆様からの貯金をお預かりしています。総合口座、普通貯金、当座貯金、定期貯金、定期積金などの各種貯金を目的・期間・金額にあわせてご利用頂いています。

(1) 貯金残高 99,378百万円 (H29.9末現在)

- (2) 貯金商品 ●定期貯金:『2017冬 ふるさとをいただきますキャンペーン』
:『平成29年度 国産農畜産物ギフトカタログ抽選権付き
全国統一年金定期貯金(結いの恵み)』
●定期積金:『JAバンク山口 地産地消応援定積キャンペーン』
:『年金プレミアム定期積金』
●子育て支援応援定期積金『のびすく定期積金』

地域への資金供給の状況

JA岩国市は、農業の振興を図るための農業関連資金はもとより、組合員の皆様の生活を豊かにするための生活改善資金等を融資しています。

また、地域金融機関の役割として、地域住民の皆様の暮らしに必要な資金や地元企業等、農業以外へも必要な資金を貸し出し、地域社会の発展のために貢献しています。

(単位:百万円)

貸出金残高(H29.9末現在)		13,344
	組 合 員 等	11,450
	そ の 他	1,893

制度融資取扱い状況 (H29.9末現在)

制度融資	融資金額	制 度 概 要
農業近代化資金	567千円	農業者等に対し農業協同組合等の融資機関が行う農業施設資金等の融通を円滑にするため、県、市町村が当該融資機関に対して利子補給措置を講じ、農業者等の資本装備の高度化を図り、農業経営の近代化に資することを目的としています。
就農支援資金	1,710千円	県が無利子の資金を融資することにより、新たに就農しようとする青年農業者の育成と確保を図ることを目的としています。

1.金融再生法開示債権の状況

(単位:百万円)

債 権 区 分	平成29年3月末	平成29年9月末	増 減
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	269	237	▲ 31
危 険 債 権	—	0	0
要 管 理 債 権	—	—	—
正 常 債 権	12,795	13,126	331
合 計	13,065	13,365	299

(注) 平成29年9月末の計数は、次の方法により算出しています。

① 各債権区分額は、平成29年3月末時点の債権額を基準として、平成29年9月末時点の残高に修正しています。

② 平成29年3月末から9月末までの間に、債務者区分の変更が必要と認識した先については、9月末時点の債務者の状況に基づき債権区分を変更しています。

2.単体自己資本比率

平成29年3月末	平成29年9月末(推計値)
19.11%	19.21%

(注) 平成19年3月末より、「農業協同組合等がその経営の健全性を判断するための基準」(平成18年金融庁・農林水産省告示第2号)の規定に基づいて自己資本比率を算定しています。平成29年9月末の単体自己資本比率(推計値)は、平成29年9月末の自己資本額及び信用リスクアセット額(推計値)に基づき算出しています。なお、オペレーショナル・リスク相当額については平成29年3月末の額(データ)を使用しています。

3.主要勘定の状況

(単位:百万円)

	平成28年9月末	平成29年3月末	平成29年9月末
貯 金	99,109	97,875	99,378
貸 出 金	13,149	13,044	13,344
預 け 金	87,453	85,861	87,149
有 価 証 券	524	1,018	1,019

4.有価証券等時価情報【有価証券】

(単位:百万円)

区 分	平成29年3月末			平成29年9月末		
	帳簿価額	時 価	評価損益	帳簿価額	時 価	評価損益
売 買 目 的	—	—	—	—	—	—
満期保有目的	—	—	—	—	—	—
そ の 他	999	1,018	19	999	1,019	19
合 計	999	1,018	19	999	1,019	19

(注) ① 平成29年9月末の有価証券の時価は平成29年9月末日における市場価格等に基づく時価としています。

② 帳簿価額は、売買目的有価証券については取得価額を、満期保有目的有価証券またはその他有価証券については償却原価適用後、減損適用後の帳簿価額を記載しています。

JAは
安心・安全
経営です

その1

健全経営のバロメーター、
「自己資本比率」は充実。

JA岩国市の自己資本比率(推計値)は
19.21%(H29.9末現在)であり、
健全経営と自己資本の
充実に努めています。

- 自己資本比率とは、金融機関の安全性、健全性を示す重要な指標で総資産に対する自己資本の比率のことです。
- 自己資本比率が4%以上であれば健全な金融機関と認められますが4%未満になれば経営改善計画の作成や業務の縮小・停止などの行政措置が講じられることになります。

JAは
安心・安全
経営です

その2

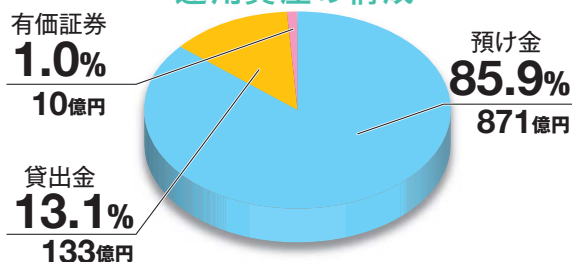
余裕資金を
豊富に保有。

JA岩国市は、いつでも使える
余裕資金を豊富に保有しており、
資金繰りは安定しています。

貯金量 **993億円** (H29.9末現在)

自己資本額 **61億円** 自己資本比率(推計値) **19.21%**

運用資産の構成



JAバンクは、JAバンク会員（JA・信連・農林中金）で構成するグループの名称です。組合員・利用者の皆様に便利で安心な金融機関としてご利用頂けるよう、密接な連携をとっています。ペイオフ、不良債権処理、IT活用による金融サービスの多様化などの環境変化に対応し、喜ばれるサービスを提供しています。

JAバンクは安心・安全経営でみなさまの信頼に応えます!!

JAバンクって、
どんな仕組みに
なってるの？



組合員・利用者の皆様

安心

JAバンク会員の
経営健全性確保

便利

金融サービスの
提供の充実

JAバンク基本方針

JA

信連
(JAバンク県本部)

農林中金
(JAバンク中央本部)

破綻未然防止システム

- JAバンク会員のモニタリング
- 基準該当JAの資産精査
- 経営改善指導
- JAバンク支援協会による必要なサポートなど

一体的事業推進

- 実質的に一つの金融機関として機能するような運営システムの確立
- 共同運営システムの利用
- 全国どこでも統一された良質な高度な金融サービスの提供

農林中金への
指導権限の付与など

再編強化法(農林中央金庫及び特定農水産業協同組合等による信用事業の再編及び強化に関する法律)

万全の体制で組合員・利用者の皆様に、
より「便利」と「安心」をお届けします。

JAは
安心・安全
経営です

その**3**

**JA山口信連と農林中央金庫が
JA貯金をバックアップ。**

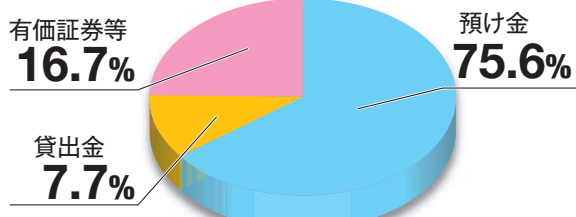
JA岩国市が余裕資金を預け入れているJA山口信連、そしてJA山口信連がその余裕資金を預け入れている農林中央金庫は、ともに健全経営を行っています。

**JA山口信連の
経営状況と自己資本比率**

貯金量 9,366億円 (H29.3末現在)

自己資本額 **754億円** 自己資本比率 **20.64%**

運用資産の構成



※有価証券等には、金銭の信託を含む。

**農林中央金庫の
自己資本比率と格付**

資金量 67兆9,882億円 (H29.3末現在)

自己資本額 **7兆0,088億円** 自己資本比率 **24.39%**

世界2大格付機関による格付

トップクラス

国内金融機関でトップクラスの評価を得ています。

格付機関名	長期債務格付	短期債務格付
スタンダード&プアーズ社	A	A-1
ムーディーズ社	A1	P-1

(注) 格付とは、預金などの元本・利息や社債の償還金などが確実に支払われるかどうかを客観的に示す指標です。 (H29.3末現在)

店舗配置図

(平成29年9月30日現在)

- ◆ATM
- ◎ATM (店外)



ひと・いえ・くるま、大きく広がった保障の輪



万一の保障はもちろん、医療保障も充実しています。

生命総合共済(保有契約)

加入件数 保障共済金額
2,200万件 125兆1,982億円



地震を含む自然災害や火災などの幅広い保障でマイホームを守ります。

建物更生共済(保有契約)

加入件数 保障共済金額
1,063万件 142兆202億円



確かな保障と充実したサービスで交通事故に備えます。

自動車共済 自賠責共済
(保有契約) (保有契約)

加入件数 **827万件** 加入台数 **679万台**

十分な支払余力

支払余力(ソルベンシー・マージン)比率

898.5%

支払余力は十分な水準となっています。

※平成23年度末より新基準が適用されています。

支払余力(ソルベンシー・マージン)比率

支払余力(ソルベンシー・マージン)比率とは、通常の予測を超えて発生する諸リスク(大規模自然災害など)に対応するため、どのくらいの支払余力を備えているかを判断するための経営指標のひとつです。

JA共済では、生命共済事業と損害共済事業の両方を実施しているため、生命保険会社または損害保険会社のソルベンシー・マージン比率と単純に比較はできません。

なお、この比率が200%を下回った場合には、監督官庁による業務改善命令等の対象となります。

支払余力(ソルベンシー・マージン)比率

$$= \frac{\text{支払余力(ソルベンシー・マージン)総額}}{\text{リスクの合計額} \times \frac{1}{2}} \times 100$$

JA共済が安心をお届けします。

平成28年度(平成29年3月末)の

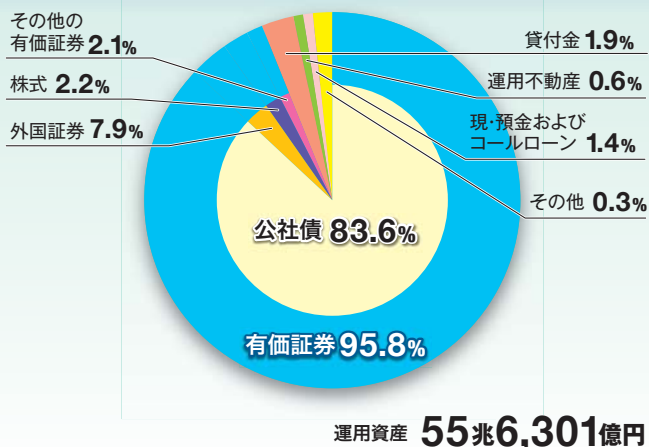
JA共済の「事業概況」等について、ご報告いたします。

これからもJA共済は、相互扶助(助け合い)の理念にもとづき、ご契約者の皆様の暮らしの安心としあわせづくりをめざします。

健全な資産運用

総資産
57兆7,651億円

総資産のうち、50兆円以上の運用資産について、安定的な収益を確保できる国債などの公社債を中心に、安全・確実な運用を行っています。

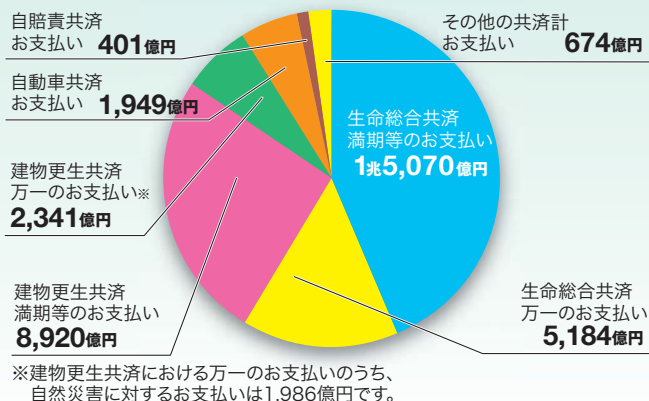


お役に立った共済金

平成28年度のお支払い
3兆4,542億円

万一のときや満期のときなどに共済金をお支払いし、皆様にお役立て頂いています。

共済金支払額の内訳



岩国市農業協同組合

〒740-0018 山口県岩国市麻里布町六丁目7番27号

TEL.0827-21-2137 FAX.0827-23-8353

<http://www.ja-iwakunishi.or.jp/>

〔このミニディスクロージャーの表示金額は原則として単位未満切捨ての上、表示しています。〕